

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 20 年 3 月 17 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

	【施設名称】 倉敷事業所
	【事業主体】 クラレ
	【所在地】 岡山県倉敷市玉島乙島 7471 TEL：086-526-5111 FAX：086-525-2222
	【運転開始年】 平成 14 年
原材料	木屑、プラスチック、紙（再利用されなかったもの）
生産物（種類）	固形燃料 RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel)
利用方法	固形燃料 RPF としてボイラー熱源に利用
導入目的・経緯	2002 年建設リサイクル法施工による再資源の義務化 ダイオキシン法規制強化による焼却炉停止 2003 年 RPS 法によりバイオマス燃料が新エネルギーとして認定される 2004 年バイオマス発電開始（建築系解体木屑をボイラー燃料に使用）
設備仕様	バイオマス・サーマルリサイクル発電用ボイラー、発電用循環流動層ボイラー
稼働状況	年間 330 日程度、24h / 日 計画処理量 16,000t / 年
経済性関連データ	平成 16 年度循環型社会形成推進モデル事業施設設備費補助金事業 岡山県と倉敷市から各 2,500 万円
導入効果	ボイラー用の主燃料である石炭の代替燃料として RPF に加え、バイオマス（建築系解体木屑）の導入を開始。従来の年間処理量 1000 トンを 1600 トンに拡大、順調に稼働中。これによる環境負荷低減は CO2 換算で 2 万 2000 トンとなる。
運営上の課題	
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像： http://www.kct.co.jp/eco/ecolife/200602.html http://www.kuraray.co.jp/release/2007/070518.html http://www10.ocn.ne.jp/~ejw/5xtokuc.html